

建築計画 (Architectural Planning)

担当教員名	坂戸 省三、寺岡 宏治、徳岡 浩二	
学科・専攻、科目詳細	建築学科 4年 後期 1単位 演習	
学科のカリキュラム表	専門科目 必修科目	
共生システム工学の科目構成表	専門工学科目 専門応用系	
学習・教育目標	共生システム工学	D-3(30%) E-1(25%) H-1(45%)
	JABEE基準1(1)	(d)(f)(g)
科目的概要	本講義は、学校建築、病院建築、住宅等々の建築計画学における各論を中心とする。それらに関して、学生がグループをつくり、建築学科学生として知っておくべき基本的知識を調べ、報告書を提出し、授業で発表する方式で授業を進めてゆく（計12回）。学生発表時には坂戸が補足、解説をおこなう。また建築設計の第一線で活躍する建築家である2人の非常勤講師は、建築設計業務の実際について講義する。	
テキスト(参考文献)	柳澤忠監修:「設計力を育てる建築計画100選」、共立出版	
履修上の注意	発表の2週間前に発表用レジメの原稿修正の指示を受け、1週間前には確認を受けること。発表に際しては、パワーポイントを有効に使うこと。報告書は一人当たりA4、7から8枚は書くこと。	
科目的達成目標	居住施設（独立住宅や集合住宅）の計画について説明できる。 教育や福祉系の施設（幼稚園、保育所、小・中学校、高等学校など）の計画について説明できる。 文化・交流系の施設（美術館、博物館、図書館など）の計画について説明できる。 医療・業務系施設（病院、オフィスビル、庁舎、オーディトリアム、宿泊施設など）の計画について説明できる。 発表に関して、多くの資料を全体的に見渡し、要点をつかみ、何らかの視点から整理して簡潔に構成し直し、人に伝えることができる。	
自己学習	学生のグループ発表の準備として、まず基本的文献に目を通し、報告書の作業分担および構成を決める。分担に従って収集した資料を持ち寄り、報告書を作成し、さらに配布用レジメを作成する。発表2週間前には教員の指導をうけ、発表内容、レジメを修正する。 実例に関しては文献のみではなく、できる限り身近にある建築を実地調査する。	
目標達成度(成績) の評価方法と基準	合格の対象としない欠席条件(割合)	1/3以上の欠課 グループ発表におけるレジメ20%、各人の報告書20%、各人の発表内容20%。期末試験40%。
連絡先	sakato@akashi.ac.jp	

授業の計画・内容	
第1週 学校（グループ発表）	基本事項。建築計画。実例。教室周りの豊かさ。小学校と地域の関係。運営方式とブロックプラン。
第2週 医療、保険施設（グループ発表）	基本事項。建築計画。実例。PPC。ナースステーションを中心とした病棟のモデル図。病室の計画。
第3週 保育所、幼稚園（グループ発表）	基本事項。建築計画。実例。育児の社会化。保育所のブロックプラン。
第4週 住宅（グループ発表）	基本事項。建築計画。実例。ライフステージと住宅。nLDKの普及経緯と問題点。家族像の変化。
第5週 建築へのアプローチ03（寺岡講師）	設計実務を通じた創造の方法など。
第6週 集合住宅（グループ発表）	基本事項。建築計画。実例。510の成立過程。住棟形態とアクセス方式。タウンハウスの可能性。
第7週 住宅地計画（グループ発表）	基本事項。建築計画。実例。住戸集合形態と密度。田園都市論と近隣住区理論。
第8週 事務所、銀行、庁舎（グループ発表）	基本事項。建築計画。実例。貸しオフィスビルの収益性と計画課題。オフィスレイアウトの計画。
第9週 レクリエーション、スポーツ施設(グループ発表)	基本事項、建築計画、実例。
第10週 商業施設(グループ発表)	基本事項、建築計画、実例。
第11週 オーディトリアム(グループ発表)	基本事項、建築計画、実例。プロセニアム形式。専用ホールと多目的ホール。
第12週 終のすみかはどこにあるのだろうか？(徳岡講師)	高齢者施設・住宅の計画と実例について
第13週 宿泊施設(グループ発表)	基本事項、建築計画、実例。ホテルの種類。
第14週 博物館、美術館、図書館(グループ発表)	基本事項、建築計画、実例。開かれた文化施設。新しい博物館。図書館の出納システム。公共図書館の中央館と分館の機能図。
第15週 補足授業	授業の補足、復習、質問等。
期末試験	